

SSRI・SSRA

---

科学英語 I

---

### 1. ねらいと授業内容

英語で説明されたテキストから情報を読み取り、その内容をまとめ、英語で聞き手に伝えるように工夫して発表する。班を編成して、「サイエンス・クイズショー」の形式で発表する。

具体的な目標としては、

- (1) 英語で読み取った情報について、その内容を再構成して発表をすることができる。
- また、聞き手に伝わりやすい発表の仕方、興味を惹く工夫をしながら発表できる。
- (2) 発表の内容を聞き、質問をして理解を深めることができる。
- (3) グループで協力しながら活動に取り組むことができる。

### 2. 使用テキスト “The Usborne Children’s Encyclopedia” (USBORNE)

### 3. 年間の流れ

第1～3回の授業では、クイズショーを日本語で作成し、発表する。

第4～6回の授業では、クイズショーを英語で作成し、発表する。

第7～9回の授業では、2～3学級を同時展開し、他学級からのグループ同士が発表し合うことで相互評価をする。

※各クラス選抜の班による学年での発表会を行うことも可。(授業時間による)

#### 年間授業予定

1 時間目	4・5 月	テキスト配布、テキストの概要をクラスでシェア
2 時間目	5 月	発表準備
3 時間目	6 月	発表（クイズショー／日本語）、振り返り
4 時間目	7 月	発表準備
5 時間目	9 月	発表準備、リハーサル
6 時間目	10 月	発表（クイズショー／英語）、振り返り※可能であれば ALT 参加
7 時間目	11 月	発表準備
8 時間目	11・12 月	発表、リハーサル
9 時間目	12 月	発表（クイズショー／英語）、振り返り※可能であれば ALT 参加
(3 時間)	1 月	サイエンスイマージョン

### 4. 評価

- (1) 各授業時間の提出物
- (2) 発表準備時の取り組み
- (3) 発表時の取り組み（聴衆に伝わる発表、聴衆を惹きつける興味深い発表）

### 5. サイエンスイマージョン（1月）

- (1) 外国人講師の講義を聞く → 質問
- (2) 外国人講師からの課題 → グループディスカッション → 発表

## 第1回 授業案

### \*目標

1. 本授業「科学英語」の大まかな内容を理解する。
2. テキストにどのようなトピックがあるのか、クラスでシェアする。
3. 第3回の発表に向けて、班で発表を担当するトピックを決める。

### \*流れ

#### 1. 導入(5分)

- ①あいさつ
- ②全体の計画を大まかに説明
- ③本日（および第3回まで）の活動の説明

#### 2. 本時のメイン活動

- ①テキストの配布（英語係）（5分）
  - ・個人で全トピックの内容を簡単に確認する。
- ②班編成と担当トピック決め（5分）
  - ・4人グループ×10班をつくる
  - ・4トピックずつ各班にあてる（計40トピック）

p.6~p.29	Our planet から 13 個	p.40~p.61	Natural life から 11 個
p.74	Modern Times	p.76	People around the world
p.78	Houses and homes	p.84	Writing and books
p.94	Myths	p.104 ~ p.125	Science around us から 11 個

#### ③個人作業（15分）

- ・割り当てられたトピックの内容について概要を把握する  
「記録用紙」配布 → 調べた単語や、大まかな内容を記録  
(後日、他の班が参照する活動があることに触れる)  
※ 辞書が必要（コミュニケーション英語の授業担当者が事前連絡する）

#### ④班で情報共有（5分）

- ・代表者はクラスへの発表準備

#### ⑤クラス内発表（10分）（各班1分以内）

- ・各班の代表者が割り当てられた4つのトピックについて簡単にまとめて発表

#### 3. 第3回の授業に向けて

##### ①各班の発表トピック決め

- ・40個あるトピックのうち、どのトピックについて発表するかを決める  
(各班で異なるトピックに取り組む)

※ 第2回は準備、第3回は発表となる

※ 発表は、各班3~4分のクイズ番組（日本語）をつくる

SSRI・SSRA 記録用紙①

CLASS:      NO.      NAME: \_\_\_\_\_

THE USBORNE CHILDREN'S ENCYCLOPEDIA

班番号: \_\_\_\_\_ 自分の調べたページ: \_\_\_\_\_ タイトル: \_\_\_\_\_

調べた語句:

語(句)	意味	語(句)	意味

わかった内容:

## 第2回 授業案

### \*目標

1. 第3回での発表をイメージさせる
2. 発表ができるように、班で準備をさせる  
(準備が終わらない場合は、休み時間や放課後の時間を使って準備することになる。)  
(できるだけ授業時間内で完了するように促す)

### \* 流れ

#### 1. 導入 (7分)

- ①あいさつ
- ②第3回の授業で、各班が扱うトピック (ページ) の確認
- ③ワークシートの配布
  - ・ 5分程度、各自で確認 → ワークシート1に取り組み

#### 2. 班活動 (45分)

- ④班を編成する → 発表活動がクイズ番組形式であることを説明する  
→ ワークシート2の説明 → 例を示す (説明用パワーポイント)
- ⑤班で打ち合わせ (リーダーなどを決めてから活動する)
  - 準備時間の提示
  - ワークシート2の表面の空欄を埋める → できた班から裏面へ
  - できるだけ完成させる

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○問題の数は2～3問とする</li><li>○解答は、各班で考えて答えてもらう形にする (テキストは見ないで答える)</li><li>○教師が紙とペンを用意する</li><li>○解答時間に制限 or 発表時間に制限あり (全ての班が終わるように)</li></ul> |
|--|

#### 3. まとめ (3分)

- ⑥次回 (第3回) の予告
  - ・ 最初に5～10分のリハーサル時間あり
  - ・ 準備が終わっていない班は、分担し完成させておく
  - ・ 次回、ワークシート2を提出する

## クイズ番組 (例)

クイズ番組の時間が始まりました！ 私は司会の〇〇です。

本日のトピックは「教育」です。教育は英語で **education** といいます。教育は大切ですね～。生徒はどんどん情報を吸収して伸びるとか、生徒に火をつけると生徒はもっともっと考えていくと、先生たちは考えています。教育によって、何かのやり方を見つけたり、過去の発見を学んだりします。

学ぶ理由は様々です。生きるために食物を育てるやり方を学んだり、家の建て方を学んだり、人と情報を共有するためにもものを書いたり、機械やお金の扱い方を学んだり、外国人と理解し合えるように外国語を学んだりします。今は余暇にスポーツや趣味で学ぶ人もたくさんいます。

私たちは生まれてからすぐに、周りの人からたくさんのことを学び始めます。5歳までにとてもたくさんを学びます。学校に行くと、知っておくべき基本的なことを教わります。普通の学校の他に、特別な技術を教える学校もあります。大学へ行き、ある分野についてさらに多く学ぶ人もいます。ある分野にすごく詳しい人のことを **specialist** といいます。

では、クイズです。

### 第1問

古代エジプトのある都市では、男の子たちは、敵との戦いで勇敢に戦えるよう、厳しく訓練を受けました。何という都市でしょう？

ヒント：「ス」から始まる名前です。

(答えは「スパルタ」)

### 第2問

世界で学校に通っている子どもの割合は？

A) 20%    B) 50%    C) 80%    D) 99%

(答えはB、多くの子どもたちは数年しか行っていないそうです)

### 第3問

最近、インターネットが大学教育で活用されています。授業をインターネットで公開する大学も増えています。

では、問題です。日本では、すべての授業をインターネットで受けることで卒業できる大学はあるのでしょうか？

A) ある    B) ない

(答えはA、平成13年より文科省が認可。しかし八洲(やしま)学園大学など、かなり少数。通信制大学として、一部インターネット可という大学はいくつかある)

私たちは、毎日学んでいます。

最後に、英語のフレーズを紹介して終わりにしたいと思います。

**No matter how old you are, you can learn something new.**

何歳になっても、私たちは新しいことを学べる

Thank you!

1- No. Name: \_\_\_\_\_

班 扱うページ: \_\_\_\_\_ トピック: \_\_\_\_\_

1) テキストの内容を捉えましょう

- どのようなことが書いてありますか？
- あなたが「へえ～」と思った内容がありますか？
- クラスのみんなに教えてあげたらよい内容がありますか？
- クラスのみんなに教えてあげたら役立ちそうという英語がありますか？

どんどん挙げてみよう↓

## 2)クイズ番組をつくります

- ① テレビのクイズ番組を頭に描いてみてください。
- ② 各班の持ち時間は3～4分です。

【構成例】 (1)始まり  
(2)トピックに関する情報の紹介  
(3)クイズ(2 or 3問)  
(4)終わり

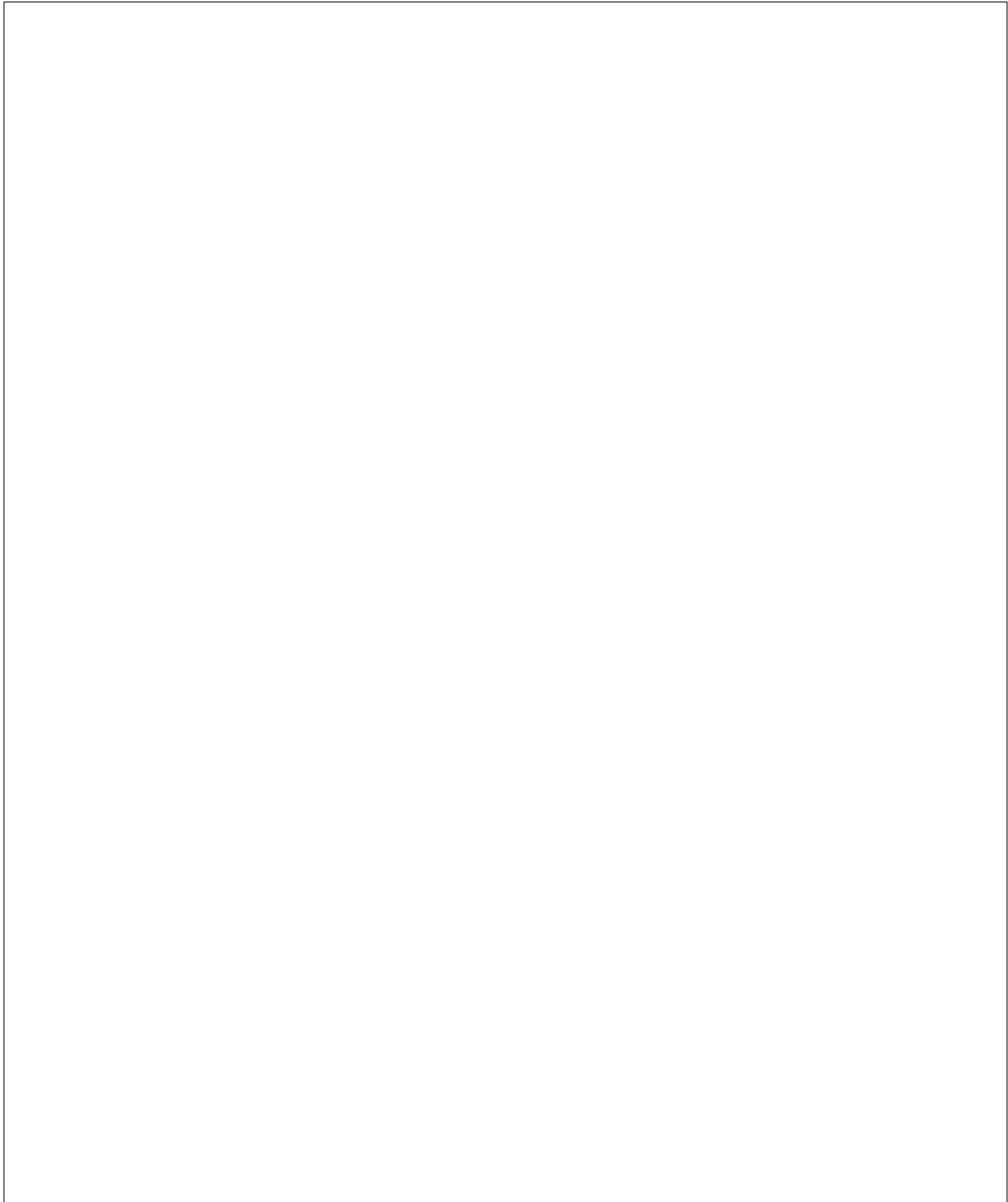
- ③ クイズ番組は、オーディエンスがクイズに答える視聴者参加型とします。  
各班に紙とペンを渡し、紙に答えを書いてもらう形にします。紙とペンは先生が用意します。
- ④ テキストに書いてある内容の全てを入れる必要はありません。  
基本的には、テキストに書いてある内容としますが、場合によっては、テキスト以外に調べたことを少し入れてもかまいません。
- ⑤ 役割分担をしてください。班員全員が話す場面があるようにしてください。
- ⑥ 必要な道具がある場合は、先生に相談してください。ただし、希望がかなわない場合もあります。  
できれば本日中、最低でも発表日の一日前には、先生に申し出るようにしてください。

おおまかな構成案・分担↓

--



では、シナリオ or 伝えるべき情報を考えよう↓ （うまく分担しながら準備しよう！）



### 3)リハーサル

本番を想定して行いましょう。うまくいっていない点は改善するよう努めよう。

- 〈ポイント〉
- \*聞き手(オーディエンス)によく伝わる発表か？
  - \*聞き手(オーディエンス)を惹きつける内容か？

### 4)本番

次回(第3回)の授業で行います。

### 第3回 授業案

#### \* 目標

今後、英語で良い発表をしていくための準備段階として、

1. グループで協力しながら作品をつくり、聴衆に伝わるような発表ができるようにする
2. 聴衆を惹きつけるような発表に努める
3. 聴衆は、他の班の発表を集中して聞き、内容に興味・関心をもつ

#### \* 流れ (班ごとに座らせる)

1. あいさつ
2. 発表準備

\* 評価用紙の配布・記入

- ・ 1 班に 1 枚配布 (事前配布も可)
- ・ 生徒は記入 → 自分たちの発表前に先生に渡す

\* 本日の発表順や流れの説明 (発表順は各クラスで決定)

\* ホワイトボード (or 用紙) の配布

3. 10 班の発表
4. まとめ/あいさつ

#### \* その他

\* ホワイトボードを係生徒が教室へ運んでおくよう指示する。

\* 先生方は、発表を評価し、用紙を保管しておく。

科学英語 第3回(発表)

実施日: \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日(\_\_\_\_)

班のメンバー: 1年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

発表するページ: \_\_\_\_\_ トピック: \_\_\_\_\_

評価:

①	内容のあるクイズを作成し、 2~3 題、出題することができた	2~3 題、出題できた	1	/1	
		出題できなかった	0		
②	4 人とも、みんなに内容が伝わるように 十分大きな声で話せていた	ほぼすべてよく伝わった	2	/2	
		少し伝わらないところがあった	1		
		ほとんど伝わらなかった	0		
③	全体として、聞き手に興味をもってもら えるような内容・発表態度になっていた	聞き手をとても惹きつけた	2	/2	
		聞き手をある程度、惹きつけた	1		
		聞き手をほとんど惹きつけなかった	0		
				計	/5

☆振り返りのポイント

- 自分たちの班の発表・・・準備は？ 協力は？ 内容は？ 発表態度は？  
聴衆に伝わった？ 惹きつけた？
- 他の班の発表・・・良かった発表は、どんなところが良かった？
- 次回に向けて・・・気をつけたいことや、改善したいことは？  
次回はどんな発表にしたい？

☆あなたの振り返りを（上のポイントを参考にしながら、特に書きたいことを）書こう！

.....

.....

.....

.....

.....

1年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 氏名 \_\_\_\_\_

## 第4回 授業案

### \* 目標

第6回での発表をイメージさせる

### \* 流れ

#### 1. 英語プレゼンテーションの実例から学ぶ [5分]

昨年の生徒が作成したポスターや発表の様子を録画した動画を見る

#### 2. ワークシート① (班に1枚)

プレゼンテーションにはどのような工夫が必要かを班で話し合う [10分]

#### 3. ワークシート② 「プレゼンの準備をしよう」

発表のやり方・評価ポイントの確認 [10分]

#### 4. Useful expressions の練習 [5分]

#### 5. グループが担当するテーマを決定する

原稿 (清書用紙) 提出日を確認

#### 6. ワークシート③ “Quiz Show in English” に取り組む

} [25分]

---

(プレゼンテーションにおける評価ポイント)

#### ① Contents --- 内容の面白さ

クイズ2～3問を作成し、聴衆に「へえ～」と言わせたり興味をわかせるような内容だったか。

#### ② Delivery --- 発表の仕方

4人とも、はっきり、わかりやすく、聴衆全員に伝わるように話していたか。

#### ③ Attraction --- 聴衆を惹きつける構成や工夫

3分(以内)の発表全体が、スムーズな流れであったか。

自分たちの内容をよりよく伝えようとする工夫があったか。

(小道具、音、ジェスチャー、言い方、写真、面白い構成など)

聴衆から見てどうなのか、聴衆の興味を引きつける発表か、等。

## Q. 「英語」で発表する際の工夫は？

2回目は、英語で発表します。工夫すべきことを班内で話し合い、キーワードをメモしよう。先輩たちの例や、自分たちの日本語での発表を思い出しながらかえてみよう。

内容

発表の仕方

聴衆を引き付けるための工夫

その他

## プレゼンの準備をしよう！

Presentation は聴衆にアイデアの **present を贈る行為** です。

「自分が言いたいこと」 = 「聴衆が聴いて、ワクワクする！良い学びになる！」という関係が成り立つプレゼンになるように必要な準備を進めてください。

発表時間はクイズの解答時間も入れて4分です。

(短すぎても、長すぎてもダメです。3分30秒～4分の間に収めよう)

### ① 今回のグループ・プレゼンの構成

**(0) Vocabulary** 今回のプレゼンをする上で、聴衆が知っておくべき重要語句を選び、説明をする。  
※先生役となって、ボキャブラリのインプットを行う。

**(1) Introduction** あいさつ  
グループの紹介  
聴衆に、トピックに興味を持ってもらえるような話（導入）をする  
①「THE USBONE CHILDREN'S ENCYCLOPEDIA」に書かれている内容  
②独自に調べた内容  
これに続くクイズにうまくつなげられるように！  
  
人を引きつけるような「ストーリー」が大事！

**(2) Quiz 1～3** 聴衆が「知っているようで知らない」問題を選択することが肝  
(簡単すぎるとつまらない。全く分からない問題だと答える気がしない)

聴衆が「へ～」となる問題や、「なるほど～」と頷く問題がいいですね。

Quizの答えに聴衆が納得できるように、解説や理由を説明しよう。



### (3) Ending

まとめ  
このトピックについて調べたことの感想  
聴衆に伝えたいこと

最後に皆に伝えたいことを述べましょう。

※ 必ずグループのメンバー全員が発表する機会をつくってください。

### ② ビジュアル(Visual)→ フラッシュカード ポスター作成 (A3×4枚をつなぎあわせる。必要に応じて4枚以上使用してもOK!) (パワーポイントの作成)

ビジュアルを用いることで、説得力が40%増します。説得するのに必要な時間は30%短縮される効果的なビジュアルの使い方をする事!

※ 何を見せるか、なぜそこに必要か、入れなくてもいいものではないか? いつ使うか?  
このビジュアルがメッセージの補強に役立っているかを考える。

### ③ 伝え方(Delivery)

「伝え方」はプレゼンテーションにおいて非常に重要。パワーやエネルギー、熱心さを感じさせるような伝え方でなくては、聴衆に言いたいことが伝わらない。できるだけ聴衆の方を見て、一人ずつ最低3秒は目を留めながら話す。

パワーは声の大きさ、強さ、あるいはジェスチャーや表情で強調することができる。単調にならないように、時には逆に声を落としたり、ジェスチャーを控えたりすることもある。どうやって聴衆を引きつけるかを考えてプレゼンをすること。

## 評価ポイント

次の3点について評価しますので、念頭に置いて準備しましょう！

### ① Contents --- 内容の面白さ

クイズ2～3問を作成し、  
「へえ」と言わせたり、興味をわかせるような内容だったか。

### ② Delivery --- 発表の仕方

4人とも、はっきり、わかりやすく、  
みんなに伝わるように話していたか。

### ③ Attraction --- 聴衆を惹きつける構成や工夫

3分（以内）の発表全体が、スムーズな流れであったか。  
自分たちの内容をよりよく伝えようとする工夫があったか。  
(たとえば小道具、音、ジェスチャー、言い方、写真、面白い構成など)

聴衆から見てどうなのか、聴衆の興味を引きつける発表か、・・・  
・・・を考えて準備しましょう^^

# Useful Expressions for the Quiz Show

## はじめの場面

- Hello! Welcome to the science quiz show.
- Today's topic is . . .
- Today we are going to talk about . . .
- Today we are going to ask you three questions.
- Now let's begin the quiz.

## 答え方の説明

- (選択問題)  
For this question, I will give you choices A, B or C. For example, if you think A is right, please write A on your board. OK?
- (答えを述べる問題)  
Next, this is not a multiple choice question. You need to write your answer.

## 指名したり、答えを言う場面

- Now, we want to ask [ Andrew / Group ○ ]. What do you think, [ Andrew / Group ○ ]?
- Now, I will tell you the answer. The answer is . . .
- You are right. / You are wrong.
- Good job, ○○! / Excellent!
- You've got one point.

## 次の問題に進む場合

- Let's go on to the next question.
- Now we are going to ask you the [ second / third ] question.

## 終わりの場面

- Have you enjoyed our show?
- Have you learned many things from our show? If yes, we are very happy.
- That's all for our quiz show. Thank you! Bye!

## Science English --- Quiz Show in English

1 - No. \_\_\_\_\_ Name: \_\_\_\_\_

Group No. \_\_\_\_\_ Pages: \_\_\_\_\_ Topic: \_\_\_\_\_

### 1) Contents (本の内容)

List some information that is interesting / new / surprising etc.

## 2) Let's make a Quiz Show

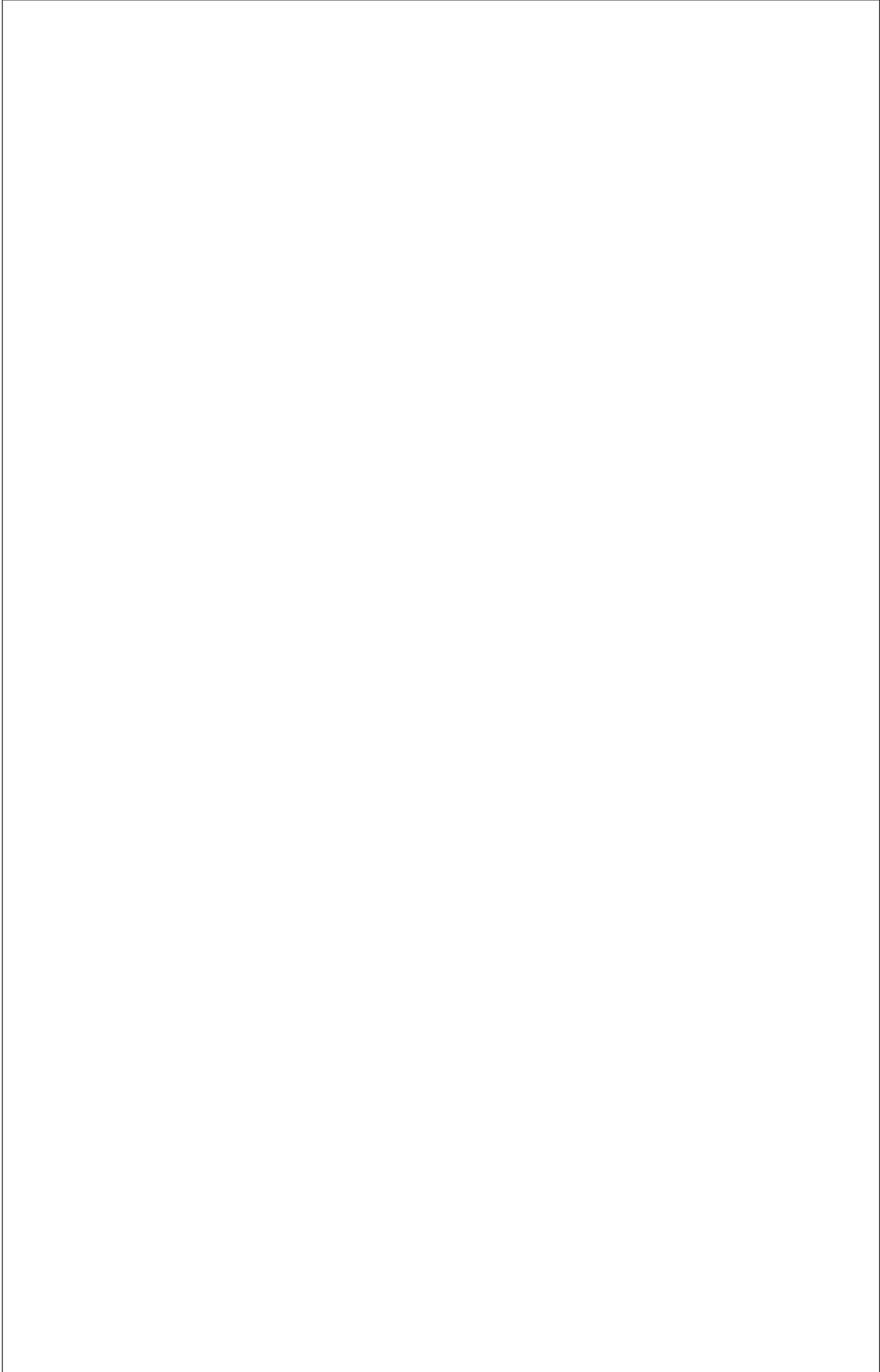
- ① 長さ : Each group has 2 to 3 minutes. (This includes time for audience to think.)
- ② 構成例 : 1) Beginning, some introduction  
2) Two or three questions  
3) Ending
- ③ 使用する情報 : Use information in your book, but you can also use some information that you get on the Internet, etc.
- ④ 英語 : Try to use clear and easy English so that your audience can understand your show.
- ⑤ 協力 : In the show, all the members in your group have to talk. You need to work together!
- ⑥ 聴衆を考える : Try to involve your audience (including ALT). Make your show attractive!
- ⑦ 提出 : You need to turn in your script. Your teacher will tell you the deadline.
- ⑧ 日程 : The 4<sup>th</sup> lesson : Today (brainstorm) ( ) 月 ( ) 日  
The 5<sup>th</sup> lesson : Next class (preparation) ( ) 月 ( ) 日  
The 6<sup>th</sup> lesson : Presentation! ( ) 月 ( ) 日

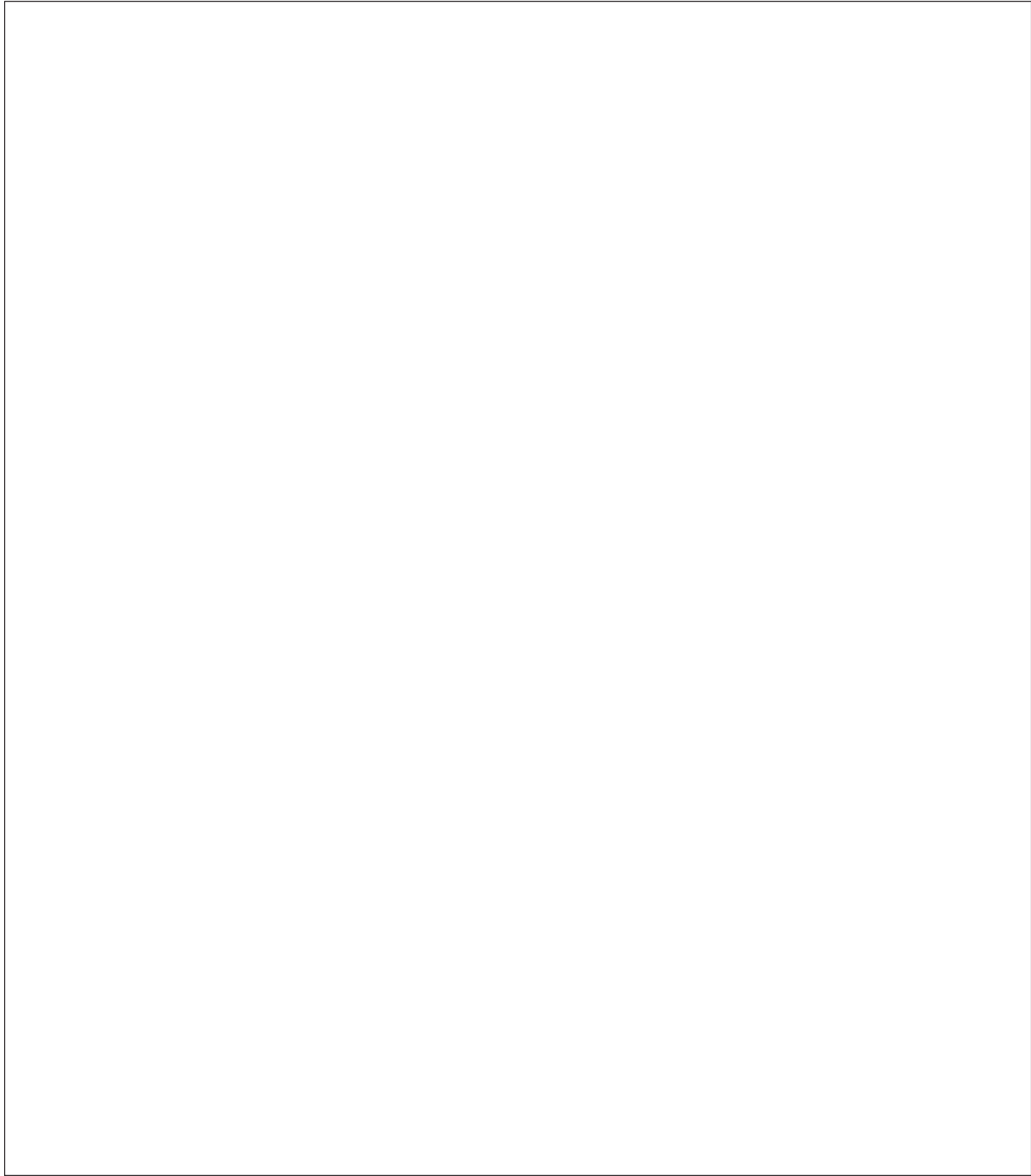
「原稿清書」提出×切:  
/ ( )

～ If you have questions or things you need, please feel free to ask your teacher. ～

Plan of the structure (構成案)

## Scenario





### 3) Rehearsal

- Check!
- Will the audience understand the show?
  - Will the audience be attracted to the show?
  - What can you do in order to make your presentation better?

### 4) Presentation of the Quiz Show

## 第4～6回 授業案

### \* 目標

1. 英語で人に伝わるような発表ができるようになる。
2. 内容的に、より人をひきつけるものが作れるようになる。
3. よりよいものを作れるよう、班員全員で協力しあう姿勢を身につける。

### 第6回

- ・クイズショーを英語で発表する。
- ・ALTが参加できる時間に授業を設定し、ALTにもよく伝わるような発表をする。  
(ALTによる評価)

### \* 流れ

- 1) 班 これまでの席で（または新しく）4人班を編成する
- 2) トピック 前回同様に4個×10枚くじをつくる  
各班にくじを引いてもらい、4個の中から好きなトピックを発表に使う
- 3) 大まかな流れ（4回～6回）

#### 第4回

- ①班をつくる
- ②くじをひく → 4つの中から、発表するトピックを決める
- ③クイズショー案づくり（日本語でメモ）
- ④早い班は英語を考える（例を示す、よく使う表現なども提示）  
\*発表は、2～3分のものをつくる（聴衆に考えさせる時間も含めて）  
\*問題の出し方・答えさせ方は各班が決める

#### 第5回

- ①英語シナリオづくり
- ②リハーサル（教師や他の班が見てアドバイス）  
\*完成しない班は自分たちで時間を設ける  
\*発表時は、メモ紙を見ないでやる方がよい!

先生への原稿提出日を設定する（各クラス担当が決定）  
→ 伝わりにくいところなどないかチェックし、アドバイスする

#### 第6回

- ①最終リハーサル
- ②発表
- ③振り返り、講評

### ◆ 7回目以降

- 第7回 英語による **Public Speaking** の例（動画）を見せ、改善すべき点を考えさせる
- 第8回 発表準備（すでに発表した内容を改善させる）
- 第9回 発表（ALTとのスケジュール調整、評価・講評をしてもらう）  
※2クラス混合クラス展開で発表する（各クラスの奇数班、偶数班）



## 第7～9回 授業案

### \* 目標

1. 英語で相手に伝わる発表ができるようになる。⇒ パフォーマンス（身ぶり、手振り等）
2. 内容を工夫して、人をひきつける発表をすることができるようになる。
3. よりよいものを作れるよう、班員全員で協力しあう姿勢を身につける。

### \* 流れ

- 1) 班 前回と同じ（第2タームで発表した4人班）
- 2) トピック 前回と同じ
- 3) 7回～9回の大まかな流れ

#### 第7回

①各班、一人一人の発表（1分）をスマートフォン（タブレット）で撮影し合う→“before”  
ワークシート①（各班1枚）

1. 動画を見て、英語の **Public Speaking** に必要なことについて班で話し合う。  
動画（1）  
動画（2）  
動画（3）
2. 自分の発表動画を見て、違いを考えさせる。
3. 班として、次の発表をどう改善するべきかを話し合う。

ワークシート②（1人1枚）

4. 発表に向けたスケジュールを確認する。
5. 次回、動画撮影（“after”）を行うことと、それまでに練習しておくことを伝える。

#### 第8回

- ①各班で、一人ずつの発表を撮影し合い、“before”との違いを確認する。
- ②次の発表に向けて、班内でリハーサルをくり返す。
- ③次回の発表教室を確認する。（奇数班＝奇数組、偶数班＝偶数組）

第9回 ※2クラス同時展開で行う。

①リハーサル

②発表

③振り返り、講評

<発表教室・担当者>

12/14(月)2限	1組教室	担当A	2組教室	担当B
	奇数番号の班		偶数番号の班	
12/22(火)2限	3組教室	担当B	4組教室	担当C
	奇数番号の班		偶数番号の班	
12/16(水)2限	5組教室	担当A	6組教室	担当C
	奇数番号の班		偶数番号の班	
12/22(火)5限	7組教室	担当C	8組教室	担当B
	奇数番号の班		偶数番号の班	

## 動画（1）

★ What is the difference between “before” and “after”?

before	after

## 動画（2）

★ What is their advice about good presentation? What do they advise us to do?

--

## 動画 (3)

★ What do you think about his presentation? What is good about his presentation?

---

## After watching the videos

★ 良いプレゼンテーションの要素は何ですか？ 参考になったことは何ですか？  
自分たちの発表と何が違いますか？

What we should keep in mind for the next quiz show in English:

【Schedule】

- 第7回 本日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ ) 良いプレゼンの要素確認 次への準備
- 第8回 次回 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ ) 準備、リハーサル
- 第9回 発表 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ ) 今年度最後の発表！

【About Quiz Show】

- ・ 時間は、6分
- ・ みんなに伝わる英語で！
- ・ 原稿は読まずに、聴衆の顔を見ること！
- ・ 必要な道具があれば先生に相談
- ・ これが最後の QUIZ SHOW です。聴衆を楽しませる、今年度最高のプレゼンにしましょう！
- ・ 構成は、出だし + 2～3問 + 終わり
- ・ ゆっくり、はっきり発音しよう！
- ・ 班員同士で協力してつくりあげること

MEMO